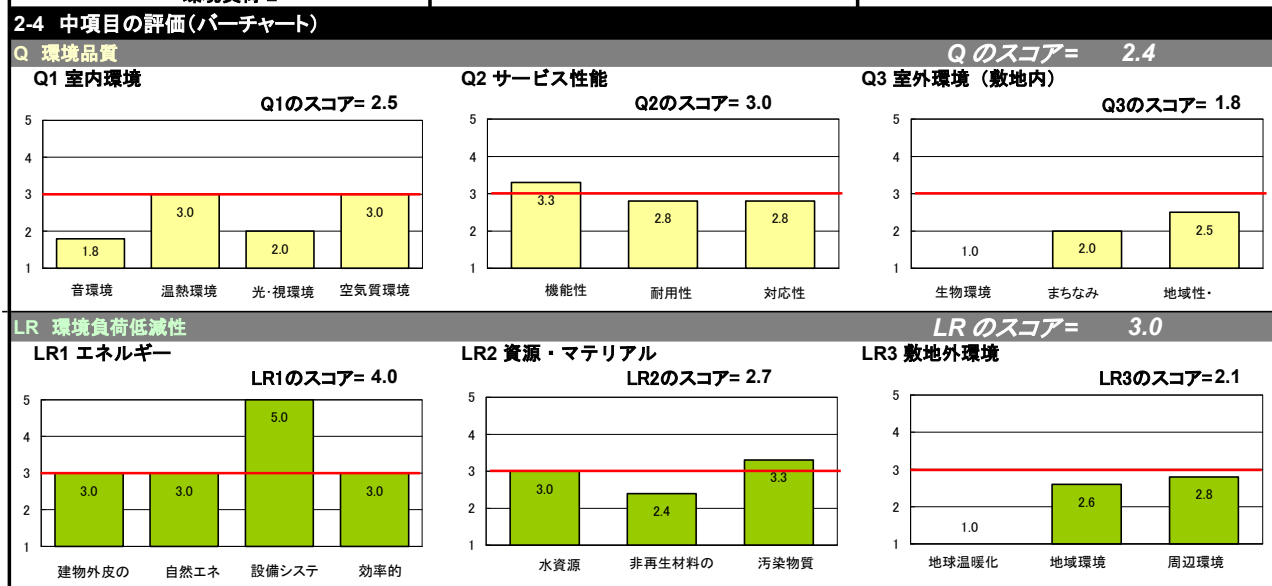
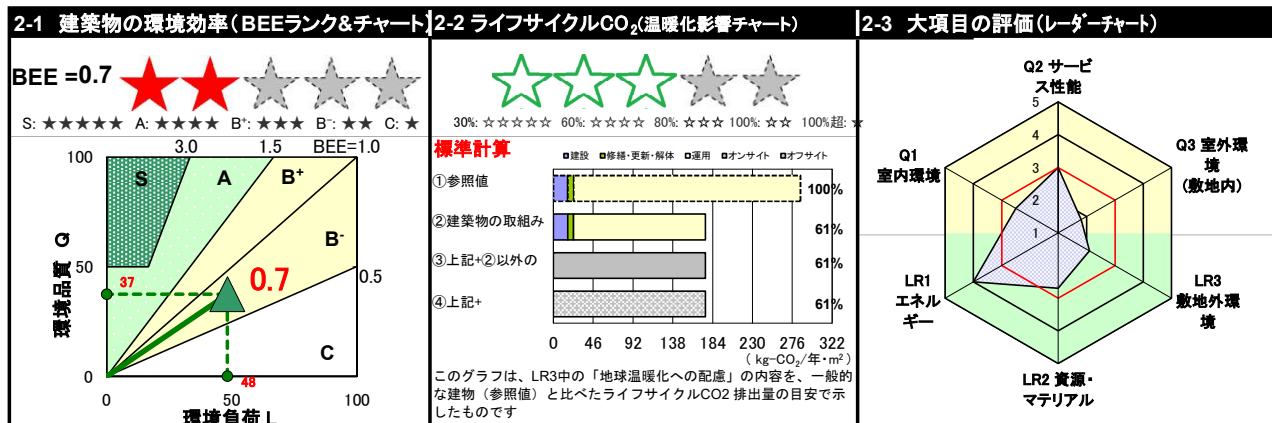


CASBEE®-建築(新築) 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	角上魚類生鮮市場 鶴ヶ島店 新築	階数	地上2F	
建設地	埼玉県鶴ヶ島市	構造	S造	
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	1,600 人	
地域区分	6地域	年間使用時間	3,400 時間/年(想定値)	
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2026年7月 予定	評価の実施日	2025年7月22日	
敷地面積	7,696 m ²	作成者	(株)ケークリエイト	
建築面積	1,896 m ²	確認日	2025年7月30日	
延床面積	2,090 m ²	確認者	(株)ケークリエイト	



3 設計上の配慮事項			その他
総合 敷地内の車両通行方向を検討し、十分な駐車台数確保し、周辺交通環境への負荷を低減する。 敷地周辺の道路・隣地との距離を保ち、緑化面積を確保し、良い景観の形成に配慮した。 高断熱性能の建築材料、太陽光パネルを採用し、省エネルギー効果を図る。			特になし
Q1 室内環境 売場に開口部を多く取り、自然光を採り入れられるように配置した。風除室を設け、外部に面するサッシを真空ガラスを採用し、冷暖房負荷の低減を図る。	Q2 サービス性能 売場天井高3.6m、作業場・事務所天井高2.7m、快適な商業空間と執務空間を実現した。	Q3 室外環境(敷地内) 芝、フェンス緑化、駐車場緑化をし、良い景観の形成に配慮した。	
LR1 エネルギー 自家消費用の太陽光パネルを導入し、電気の節約を実現した。	LR2 資源・マテリアル 内装材はF☆☆☆☆材を使用した。	LR3 敷地外環境 十分な駐車台数確保し、周辺交通環境への負荷を低減する。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版
角上魚類生鮮市場 鶴ヶ島店 新築工事

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート 実施設計段階							
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点		評価点		全体	
		評価点	重み係数	評価点	重み係数		
Q 建築物の環境品質						2.4	
Q1 室内環境			0.40	-	-	2.5	
1 音環境		1.8	0.15	-	-	1.8	
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40	3.0	-		
1.2 遮音		1.0	0.40	-	-		
1 開口部遮音性能		1.0	1.00	-	-		
2 界壁遮音性能		-	-	-	-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	-	-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	-	-		
1.3 吸音		1.0	0.20	-	-		
2 温熱環境		3.0	0.35	-	-	3.0	
2.1 室温制御		3.0	0.50	-	-		
1 室温		3.0	0.50	-	-		
2 外皮性能		3.0	0.17	-	-		
3 ゾーン別制御性		3.0	0.33	-	-		
2.2 湿度制御		3.0	0.20	-	-		
2.3 空調方式		3.0	0.30	-	-		
3 光・視環境		2.0	0.25	-	-	2.0	
3.1 屋光利用		3.0	0.50	-	-		
1 屋光率		-	-	-	-		
2 方位別開口		-	-	-	-		
3 屋光利用設備		3.0	1.00	-	-		
3.2 グレア対策		-	-	-	-		
1 屋光制御		-	-	-	-		
3.3 照度		-	-	-	-		
3.4 照明制御		1.0	0.50	-	-		
4 空気質環境		3.0	0.25	-	-	3.0	
4.1 発生源対策		3.0	0.50	-	-		
1 化学汚染物質		3.0	1.00	-	-		
4.2 換気		3.0	0.30	-	-		
1 換気量		3.0	0.50	-	-		
2 自然換気性能		-	-	-	-		
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	-	-		
4.3 運用管理		3.0	0.20	-	-		
1 CO ₂ の監視		1.0	0.50	-	-		
2 喫煙の制御	室内に全面禁煙とする。	5.0	0.50	-	-		
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	3.0	
1 機能性		3.3	0.40	-	-	3.3	
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	-	-		
1 広さ・収納性		-	-	-	-		
2 高度情報通信設備対応		-	-	-	-		
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-		
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30	-	-		
1 広さ感・景観	売場天井高3.6m、事務所天井高2.7m、快適な商業空間を実現でき	5.0	0.33	-	-		
2 リフレッシュスペース		3.0	0.33	-	-		
3 内装計画		1.0	0.33	-	-		
1.3 維持管理		4.0	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計	清潔さを保持しやすく、掃除しやすい仕様を採用した。	5.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-		
2 耐用性・信頼性		2.8	0.30	-	-	2.8	
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50	-	-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-		
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.30	-	-		
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-		
2.4 信頼性		2.4	0.20	-	-		
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-		
2 給排水・衛生設備		2.0	0.20	-	-		
3 電気設備		3.0	0.20	-	-		
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-		
5 通信・情報設備		1.0	0.20	-	-		

3 対応性・更新性			2.8	0.30	-	-	2.8
3.1 空間のゆとり	3.1 空間のゆとり		3.4	0.30	-	-	
	1	階高のゆとり	5.0	0.60	-	-	
	2	空間の形状・自由さ	1.0	0.40	-	-	
	3.2 荷重のゆとり		3.0	0.30	-	-	
	3.3 設備の更新性		2.4	0.40	-	-	
	1	空調配管の更新性	1.0	0.20	-	-	
	2	給排水管の更新性	2.0	0.20	-	-	
	3	電気配線の更新性	3.0	0.10	-	-	
	4	通信配線の更新性	3.0	0.10	-	-	
	5	設備機器の更新性	3.0	0.20	-	-	
	6	バックアップスペースの確保	3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	1.8
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			2.0	0.40	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.0
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.0
1 建物外皮の熱負荷抑制			3.0	0.20	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.58	5.0	0.50	-	-	5.0
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価		3.0	1.00	-	-	
	4.1	モニタリング	3.0	0.50	-	-	
	4.2	運用管理体制	3.0	0.50	-	-	
	集合住宅の評価		-	-	-	-	
	4.1	モニタリング	-	-	-	-	
	4.2	運用管理体制	-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.7
1 水資源保護			3.0	0.20	-	-	3.0
	1.1 節水		3.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
	1	雨水利用システム導入の有無	3.0	0.70	-	-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無	3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.4	0.60	-	-	2.4
	2.1 材料使用量の削減		2.0	0.11	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.22	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.22	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		1.0	0.22	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.22	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20	-	-	3.3
	3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避		3.5	0.70	-	-	
	1	消火剤	-	-	-	-	
	2	発泡剤(断熱材等)	4.0	0.50	-	-	
	3	冷媒	3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	2.1
1 地球温暖化への配慮			1.0	0.33	-	-	1.0
2 地域環境への配慮			2.6	0.33	-	-	2.6
	2.1 大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善		2.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.5	0.25	-	-	
	1	雨水排水負荷低減	4.0	0.25	-	-	
	2	汚水処理負荷抑制	3.0	0.25	-	-	
	3	交通負荷抑制	5.0	0.25	-	-	
	4	廃棄物処理負荷抑制	2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			2.8	0.33	-	-	2.8
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
	1	騒音	3.0	0.33	-	-	
	2	振動	3.0	0.33	-	-	
	3	悪臭	3.0	0.33	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	
	1	風害の抑制	3.0	0.70	-	-	
	2	砂塵の抑制	1.0	-	-	-	
	3	日照障害の抑制	3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制		2.3	0.20	-	-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	2.0	0.70	-	-	
	2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	3.0	0.30	-	-	

CASBEE埼玉県 重点項目シート

■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	角上魚類生鮮市場 鶴ヶ島店 新BEE	0.7	BEEランク	★★
------	--------------------	-----	--------	----

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア		
1.0	+	1.6	=	2.6
重点項目の各スコアの合計点				
がんばろう 6.0未満	良い 6.0以上	非常によい 6.8以上	すばらしい 8.0以上	

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減		スコア平均	1.0
＜CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア＞			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	1.0
風除室、真空ガラス、空調設備等を設置し、冷暖房の負荷を低減することを図る。			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	1.6
＜CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア＞			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	1.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	2.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	2.0
接道フェンス緑化、駐車場緑化、壁面緑化を計画した。			

 : 入力欄